

プレスリリース [令和5年6月27日]

(計2枚)

加賀市名誉市民について

この度、本市に深いゆかりがあり、我が国の芸術の進展に貢献し、その業績が世界的に讃えられている「中谷 芙二子(なかや ふじこ)」氏に加賀市名誉市民の称号をお贈りすることといたしました。

中谷氏のプロフィールにつきましては、別紙の資料のとおりです。

なお、名誉市民称号授与式につきましては、

7月7日(金)午後2時からホテルアローレにて開催いたしますので取材をお願いいたします。

本件へのお問合せ先
加賀市 政策企画部 秘書課 担当：山田 TEL 0761-72-1115

加賀市名誉市民

中谷芙二子氏 プロフィール

中谷芙二子/Fujiko Nakaya

1933年、中谷宇吉郎の次女として札幌に生まれる。東京在住。米国ノースウェスタン大学卒業。1966年にニューヨークで芸術と科学の協働を理念として結成された実験グループ「E. A. T. (Experiments in Art and Technology)」に参加、1970年の大阪万博ペプシ館にて人工霧による《霧の彫刻》を発表する。以降、世界各地で人工霧を用いた環境彫刻、公園、インスタレーション、パフォーマンスなどを手がける。建築・音楽・ダンス・光など他ジャンルのアーティストとの共同制作も多い。1970年代よりビデオ作品を制作し、1980年には日本初のビデオアート専門のギャラリーとして「ビデオギャラリー SCAN」を原宿に設立した。1976年オーストラリア文化賞、1993年吉田五十八賞特別賞、2008年文化庁メディア芸術祭功労賞受賞、2017年フランス芸術文化勲章コマンドゥール受勲、2018年高松宮殿下記念世界文化賞、2020年文化庁長官表彰、2022年文化功労者顕彰、2023年ウルフ賞芸術部門(彫刻分野)受賞。

代表作に《霧の森》(国営昭和記念公園こどもの森、1992年)、《F.O.G.》(ビルバオ・グッゲンハイム美術館、1999年)、《雨月物語 懸崖の滝》(横浜トリエンナーレ、2008年)、《Veil》(フィリップ・ジョンソン「グラスハウス」、ニューケイナン、2014年)、《London Fog》(テート・モダン、ロンドン、2017年)、《霧の彫刻 #47629 Rock》(水戸美術館、2018年)、《霧の彫刻 #47610 Dynamic Earth Series I》(長野県立美術館、2021年)など。